

第 35 回「公正」(2013/7/21)

場所：アークヒルズカフェ（六本木）

司会、文責：野田

参加者：16 人

要約：公平と正義の関係について主に議論しました。欧米と日本の正義観念の違いについても簡単に議論しました。

内容：

1. 提案者からのお題の説明

・アメリカで「正義」に対応する言葉は、「justice」「fairness」「equity」という三つの言葉で、あまり区別されていないそうである。ところが、これを日本語に訳すと正義、公正、公平、衡平と意味合いが少し違う様におもえる。我々は、有る概念を言葉で定義して共有しているが、言語が変わると、定義している概念が変わってくる。西洋では公正という事は正義が実現する為の主要な要因と考えている様に感じているが、日本語で公正とは何かと問われると、公平なこと？または適正な事？とあまり正義につながらない。この公正とは何か？英語での定義と日本語で語られる公正との違いは有るのかについて、皆さんの意見を聞いて見たい。

2. 公正

- ・ 公正とは、ずるさや不当な扱いに対立する考え方である。
- ・ 公正は、公共的な正義のことだと思う。みんなで考えて、みんなで結果を享受するもの、共通するもの。
- ・ 法律やルールで定まったものが公正である。
- ・ どの立場でも納得できるルールに従うのが公正。自分と他人を対等に扱い、自分と相手を入れ替えて考え、自分を特別扱いしないことである。相手の気持ちになることであり、自分を消すことではない。
- ・ 当事者間の利害に絡むことであっても、感情を除外して考えるべきである。
- ・ とはいっても、損害を蒙った他者の感情を思いやる気持ちも大切である。
- ・ 公正は、総理大臣のような、上からの視点で考える。
- ・ 公正が実現するには、選択の余地が残されていることが必要である。
- ・ 公正が社会を成り立たせている。
- ・ 議員を選挙することは公正か、政策で選ぶべきではないか。

3. 公平

- ・ 公平と公正は同じである。
- ・ ケーキを人数分で等分するのは平等であるが公平ではない。大人と子供、空腹の具合など、状況を鑑みて分配する量を決めるのが公平である。
- ・ 例えば、社会で最も不利な立場におかれた人の利益を最大化するように分配するという

考え方（ロールズの格差原理）は公平である。この考え方では、多少の格差は是認されるが、行き過ぎは抑制しようとする。

4. 正義との関連性

- 公平であることが正義であるというのが欧米の考え方である。
- 第三者が悪であるかどうか決定し、調停するべきというのが欧米の考え方である。
- 日本では、権利あるいは既に得ているものを侵害するものが悪である。
- 日本の正義は主観的に判断され、当事者感情に重点を置いて制裁したがる傾向がある。

「fairness」という英語に対して、公平と公正の二つの訳語があり、又、フェアという日本語もあります。「fairness」と公平、公正、フェアの関係について、機会があったら検討したいとおもいます。